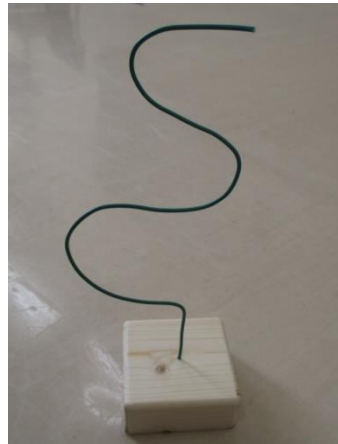


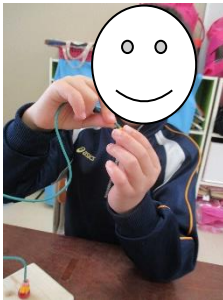
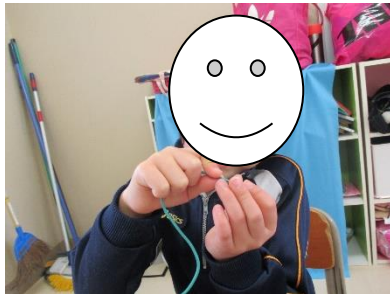

主に関係する 領域・教科	自立活動	氏名：岡田 英子
教材・教具名	ビーズ通し	
ねらい	・指先や手首の返しを使ってビーズを出し入れしようとする。	

教材教具の説明

★指先や手首の返しを使ってビーズを出したり入れたりする。



制作のポイント	使用材料・部品
<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応を高める教材。 ・針金は曲げて様々な形にすることができる。 ・児童がいつも使用しているビーズに対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘引結束ソフトワイヤー ・木の板

実践	<ul style="list-style-type: none"> ・穴の大きさが大きいビーズから提示し、ビーズは平らな机の上に並べて置く。 ・机の上のビーズを指先でつまみ、ワイヤーを抑えてビーズを入れていた。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
効果・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・カラフルなビーズを用意すると興味を持って課題に取り組む姿が見られた。 ・ワイヤーからビーズを出す時は、手首の返しを使って出すことができていた。 ・ワイヤーはとても滑りやすく真っ直ぐな形にすると、手首を使わなくてもビーズが落ちて行ってしまったので、手首の返しを使う為にワイヤーにうねりをつける必要がある。 ・教材を抑える力がまだない児童なので木材の裏に滑り止めが必要である。